

# 麗和サッカークラブニュース

Vol.58

令和2年10月6日発行 発行人 麗和サッカークラブ会長 関根弘之

夢

会長 関根弘之(高23回)

長い梅雨の後の急激な猛暑、そして9月半ばまで続いた残暑。皆さんいかがお過ごしですか。コロナ禍は世界の動きや日々報道される国内の感染状況から察するに、感染者のグラフの山の高さは低くなるでしょうが波の繰り返しが長期戦となることは明らかです。引き続き医療に関わる方のご苦労に感謝します。また、ウイルスに打ち克つ心と体の免疫を維持することが私たちにできる最善の協力と考えています。

さて、自粛生活が強く叫ばれていた頃、できるだけ外に出ることを心がけていました。都県境を越えるのは気が引ける(台東区に居住)こともあり、ほとんどの移動は徒歩で可能な範囲を毎日徘徊し、スイカを使うのは月に数回でした。「泪橋」交差点近くの歩道に「あしたのジョー」の人形が立っていたり、「おはぐろどぶ」の名残を見つけたり発見の連続で結構充実した毎日となりました。しかし、家族の一人がかかりつけの医院で「PCR検査」を薦められ、最悪の事態を想定して週末の予定をキャンセルし、緊張した生活が継続していたことには変わりません。幸い陰性でしたが、生活の中に深く入り込んでいくことを実感しました。

7月半ばからなでしこリーグが始まり、審判指導で仙台、新潟、秋田など新幹線を利用する機会も増えてきたのですが、1車両に数人の客の姿しか見られない光景は異常でした。また、「会場ではできるだけ審判員と接する時間を短くするように」というJFAからの指示があり、試合後の指導をリモートやメールなどで後日行うなど新しい方法を試行錯誤をしています。観客が入れるようになりましたが、大きな声で独り言(熱狂的な応援のつもり)の人が気になります。

私たちの周りでも徐々に以前の生活に戻す努力が行われています。身近な県社会人リーグでは練習試合などの活動が始まり、OBチームである“FCれいわ”から5-1で勝ったとの便りが届きました。本田監督の報告にもありますが高校選手権の予選も始まりました。まずは手探りで活動範囲を広げ「確かなもの」を積み重ねながら以前に近い状態に戻したいものです。

本会も、6月の総会は中止し、総体予選の応援や夏季合宿の激励など現役の活動を応援する機会もなくなり、休眠状態になっていたのですが、「第20回浦和4校サッカー部OB交流会」が下記の要領で開催されることになりました。恒例となっている試合後の懇親会は行いませんが、大いにサッカーを楽しみたいと思います。

一方「湘南高校OB/浦和高校OB/仙台一高OB+YC&AC交流戦」は当初実施する方向で検討されていましたが、最終的に実施しないことになりました。

昨年、「浦和のグラウンドを人工芝に」という運動についてご連絡しました。資金面での応援もお願いしましたが、1年間で21,324,205円(9/16現在)の援助をいただきました。趣旨をご理解いただき積極的にご協力ありがとうございます。しかし、実現にはまだ遠い額です。各種の補助金などを利用していますが、あくまでも補助であり原資は集めなければなりません。

もう20年ほど経ちますが、元会長の星野隆之(14回)さんや荻野清明(33回)さんが顧問をされていた時、部員を連れてイングランドに研修旅行にいった時期がありました。当時私が浦和高校の定時制に赴任していた頃で2回同行させていただきました。現地でお世話をいただいたのが伊藤庸夫(12回)さんです。サッカーの母国に足を踏み入れたとき、「サッカーはこういうところだと楽しいな」と感じました。しかし、芝生は日本の気候や地形、利用頻度など様々な要素から学校に導入することは無理だと思い、単に「うらやましいな」で終わっていました。

人工芝が導入された当初、材質による擦過傷(スライディングができない)、ゴムチップのにおい、高温(スパイクの底が剥がれる)など問題はありましたが、現在は天然芝を目標にかなり改良されているようです。

「芝生でサッカーをしたい」という夢を持ったことはありませんか。それを、今実現させませんか。

高校生の現役の時、昼休みにグラウンド整備をしたような気がするのですが皆さんはいかがでしたか?年代を超えてその記憶を共有しながら、新しい時代に向けて人工芝実現のため是非皆さんのご協力をお願いします。

◎納入方法は、ふるさと納税のパンフレットや、浦和高校HPのお知らせ「埼玉県教育環境整備基金～グラウンド人工芝化に向けて～寄付金のお願い」、または同窓会HPの重要なお知らせ2019年9月6日、12日付けで掲載されている人工芝関連の記事をご覧ください。

♡サッカーを愛し、母校を愛し、埼玉を愛するOBのみなさんへ♡

## 第20回《浦和4校サッカー部OB交流会》☆☆第20回記念大会☆☆

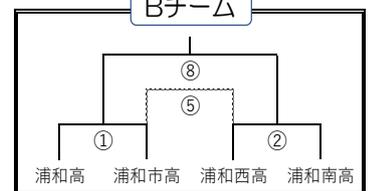
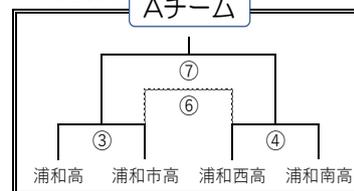
1. ホスト校 さいたま市立浦和南高校サッカー部OB会
2. 日時 令和2年11月3日(火) 文化の日  
8:00 集合、受付、着替え  
8:15～ 開会行事、準備運動  
8:45～13:10 交流試合  
13:20～ 表彰式

3. 会費 各校1万円
4. チーム編成と試合規定 ☆選手交代は無制限とする  
◎Aチーム(50才以上) ☆優勝チームには  
◎Bチーム(35才～49才) 優勝カップを授与  
◎引き分けの場合は 1回戦→PK戦(3人)  
3位決定戦・決勝戦  
→両チーム3位・優勝とする

5. エキシビジョンゲーム 50才以上の混成チームによる紅白戦
6. ユニフォーム 各校で用意。当日は、ピブスも用意します。  
※スパイク、ストッキング、パンツ、すね当て等は各自で用意。
7. 雨天の時 小雨決行! 人工芝なので多少の降雨可

問い合わせ 幹事長: 田口 智雄  
共有メール: reiwasc1923@yahoo.co.jp

### 8. 対戦表



### 9. 試合日程

試合	試合時刻	対戦チーム	主審/副審
①	8:45～9:45	浦高B VS 市高B	浦/市
②	9:15～9:40	西高B VS 南高B	西/南
③	9:45～10:15	浦高A VS 市高A	市/浦
④	10:10:10:30	西高A VS 南高A	南/西
	10:35～10:55	☆エキシビジョンゲーム・1回目	ホスト校
⑤	11:00～11:25	( )B VS ( )B	決勝2校
⑥	11:30～11:50	( )A VS ( )A	決勝2校
	11:55～12:15	☆エキシビジョンゲーム・2回目	ホスト校
⑦	12:20～12:40	( )A VS ( )A	3決2校
⑧	12:45～13:10	( )B VS ( )B	3決2校

今年の選手権一次予選はコロナの影響で例年の8月ではなく、9月スタートで開催されました。以下に結果をご報告いたします。

一回戦 (9/13) vs川越工業 11-0勝利  
代表決定戦(9/20) vs越谷南 0-1敗退

上記の通り、代表決定戦にて越谷南高校に敗れ二次予選進出を逃してしまいました。苦手とするハイボールの処理、セカンドボールの回収がうまくいかずになかなかリズムが掴めないなか、後半に入ったところでCKで先制を許してしまいました。その後も選手権独特の緊張感とリードを許した焦りからか、冷静な試合運びができず、試合終盤に何度か決定機を作るも得点が奪えず試合終了となってしまいました。まさかの敗退が決まって、しばらくは悔しさというより事実を受け入れることができませんでした。「あのときああしていれば良かった、こうしていれば良かった」と、取り返しのつかない後悔や反省の念ばかりが膨れ上がり、一番悔しいはずの選手たちにろくな言葉も掛けてやれませんでした。最後まで頑張り切った選手たちには、この悔しさから目を背けずにしっかり向き合い、この先の人生の様々な困難を乗り越える糧にしていってほしいと思います。

私自身も、この悔しさ乗り越え、反省を生かし、新チームの成長に向けて全力を注いで参ります。OBの皆様のご期待に沿う結果がなかなか出せずに申し訳ありませんが、今後ともご支援・ご協力を宜しくお願い致します。

### 新主将コメント

初めまして。新チーム主将となりました。74期狩野拓夢です。  
私は、試合での勝利を追い求めるとともに、選手である自分たちがサッカーをすることを楽しめるようなチームにしたいと思っています。そのために、日々質の高い練習をし、誰もがモチベーションを高く維持できるように、ピッチ内外でチームの軸となり、他の部員を引っ張っていけるような主将でありたいと思います。  
S2リーグ昇格、選手権県ベスト8を目標として活動していきたいと思っております。  
この一年間日々邁進して参りますのでよろしくお願い致します。



余田(副主将)、狩野(主将)、小林(副主将)

### 御協力依頼

OBの皆様方には、日頃よりサッカー部の活動へ多大なる御支援をいただき、誠に感謝申し上げます

昨年、サッカー部の活動の一層の充実化・活性化を図るべく、私はある一大決心をして当時の校長に提案いたしました。それは、グラウンドの人工芝化です。

過去においては、全国高校選手権を3度制覇するなど全国でもトップレベルの活躍をしてきた浦和高校サッカー部ですが、近年、県内においても他校の後塵を拝し、全国に出場することさえ困難な状況が続いております。その理由の一つとして考えられるのが、「練習環境の差」であります。県内の私立高校や市立高校が人工芝のグラウンドで練習をしている中で、浦和高校は未だに土のグラウンドでの練習です。今、関東大会や全国の試合はもちろんのこと、県内上位の試合においても、公式試合はすべて芝のグラウンドで行われています。こういった状況の中で、他の強豪校との練習の質に圧倒的な差があることは否めない事実です。そこで、浦和高校サッカー部が再び、全国の舞台上で輝くことができるように、そして「サッカーのまち」として、さらにこの浦和の街を発展させていくためにも、グラウンドの人工芝化が必要と考えたのです。

グラウンドが人工芝になることで、足腰への負担も少なく、怪我をしにくいなど安全性の向上も期待でき、一般生徒にとっても体育授業を始め、様々な学校行事において、身体活動への意欲が喚起され、より一層の活性化が見込まれます。また、多目的利用が可能になることで、地域コミュニティの拠点としての価値も高まり、多くの市民の方に活用していただき愛され親しまれる学校づくりにも繋がることと思っております。

昨年度、ラグビー部さんが花園の舞台上で大活躍しました。その姿を見て我々サッカー部としても、なんとか再び全国の舞台上で、埼玉・浦和の代表として、卒業生や市民の皆様の大声援を背に栄冠を勝ち取り、その喜びを一緒に分かち合いたいという想いが強くなりました。今後さらに浦和高校が発展し、卒業生、市民の皆様の誇りとして輝きを放っていくために、どうかこの趣旨に御賛同いただき、御協力をお願い申し上げます。

※寄付については、別添の資料の通りでございます。ふるさと納税制度で所得税・住民税の控除が受けられますので、実質2,000円の負担で寄附できます。

- 社会人1口5,000円 学生(浪人生を含む)1口2,000円
- 郵便振込 ⇒ 同封の振込用紙をご利用ください。(振込手数料当会負担)
- 銀行振込 ⇒ 埼玉りそな銀行 さいたま新都心支店 普通 0273349

麗和サッカークラブ(レイワサッカークラブ)

※振込手数料は、ご負担ください。

※必ず卒業回あるいは卒業年度を振込人前に記載してください。(例)31回 田口智雄

※埼玉りそな銀行・りそな銀行にて口座を作成してインターネットバンキングにて上記埼玉りそな銀行口座に振込の場合は、手数料無料で銀行に行かなくても振込手続きできます。

\*まだ会費未納入の方は、納入をお願いします。毎年度予算目標達成に大変苦勞しております。社会人の方は、できる限り2口以上の会費納入へのご協力を何卒宜しくお願いします。

転居等により会報送付先の住所が変更になる場合には、右記の担当者にてメールにてお知らせください。

幹事長：田口 智雄  
共有メール：reiwasc1923@yahoo.co.jp